



最初にお読みください

CentreCOM® **RG601TX/RG601TX-SP** リリースノート

この度は、CentreCOM RG601TX/RG601TX-SP をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、アドミニストレーターマニュアル（613-000243 Rev.A）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン B58

2 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン B51 から B58 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。


- 「IP 電話設定」→「Peer to Peer 設定」の最初のエントリが消失することがありましたが、これを修正しました。
- 着呼時に TEL LED が点滅しませんでした。これを修正しました。
- 「メンテナンス」→「バックアップ」によって出力される設定ファイルの内容に、「Enable Session Expire」の「有効」（「IP 電話設定」→「高度な設定 2」）、「ネームサーバー設定」の設定内容（「詳細設定」→「LAN 側設定」）が含まれていませんでしたが、含まれるよう修正しました。
- 「IP 電話設定」→「IP 電話詳細設定」の「電話回線ダイヤル種別」を「DP10」に設定すると、正しいダイヤルパルスが出力されませんでした。これを修正しました。
- 告知放送を約 500 回ほど受信すると ARP 解決ができなくなり、本製品が通信不能になっていましたが、これを修正しました（RG601TX-SP のみ）。




3 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン B58 には、以下の制限事項があります。

3.1 SIP

- 本製品の起動直後に REGISTER の再送が発生した場合、最初の REGISTER と次の REGISTER の間隔が約 2.5 秒となります。
- IP 回線に対するコールウェイトは未サポートであるため、「IP 電話設定」→「IP 電話詳細設定」の「VoIP コールウェイト」を「無効」に設定してください（デフォルトでは「有効」に設定されています）。

 **参照** 「アドミニストレーターマニュアル」 / 「8.2 IP 電話詳細設定」

- Call Holdは、サポートしておりません。
- SKY-IP-PBX との接続時、「IP 電話設定」→「高度な設定 2」の「Session Expire Timer」は使用できません。
 **「アドミニストレーターマニュアル」 / 「8.6 高度な設定 2」**
- PPPoE を経由して、SIP を利用することはできません。
- VoIP 通話中にOPTION Methodを受信してもレスポンスコード 486BusyHereを返さないため、サーバーによっては通話中のセッションが切断されることがあります。
- Peer To Peer の通信で、発信者番号非通知機能は使用できません。
- 「Re-REGISTER」を送信したとき、ステータスが「Un-REGISTER」（サーバー未登録）となります。運用上、問題はありません。
- INVITE 送信直後に、発呼をキャンセルすると（オンフックすると）、INVITE に対する CANCEL とは別に無関係な CANCEL が送信されることがあります。
- 本製品は、「G.711u」のみをサポートしています。「G.711a」「G.726」「G.729a」は未サポートであるため、「IP 電話設定」→「高度な設定 1」の「優先 CODEC」において、「G.711a」「G.726」「G.729a」は「no-use」を設定してください。
 **「アドミニストレーターマニュアル」 / 「8.5 高度な設定 1」**
- 「IP 電話設定」→「Peer to Peer 設定」の「ポート番号」でポート番号が指定可能ですが、本製品の SIP の受信ポートは 5060 固定であるため、本製品同士の通信では 5060 以外を指定できません。また、受信したパケット（UDP）の宛先ポート番号が 5060 であれば、自分宛の SIP メッセージではなくても（To: ヘッダの SIP-URL が自分宛ではなくても）応答します。
 **「アドミニストレーターマニュアル」 / 「8.4 Peer to Peer 設定」**
- SIP パケットは、UDP のみをサポートしています。
- 「IP 電話設定」→「高度な設定 2」の「Enable Session Expires」が無効（デフォルト）にされているにもかかわらず、Supported に timer を含む INVITE を受けて 200 OK を返す際に、Expire を含みます。

3.2 PSTN

- IP 回線による通話中に、PSTN からの着信通知を受けた場合、IP 回線の通話を終了し、受話器をオンフックしてから、PSTN からの通話に切り替えてください。この場合、PSTN 側からの発信者番号通知は表示されません。PSTN による通話中に、IP 回線から着信を受けた場合も同様にして、切り替えてください。
- 「NTT ボイスワープ」は、サポートしておりません。

- 使用している PSTN 回線がパルス方式の場合、トリオホンサービスを利用することができません。

3.3 DTMF

- 「IP 電話設定」→「高度な設定 1」の「転送方法」で「RFC2833」を選択したとき、「end bit」が設定されていません。他の SIP 端末と接続すると、DTMF トーンが終了しないことがあります。

3.4 SYSTEM

- 端末管理サーバーとの TTL 送信間隔は、60 分以上に設定してください (RG601TX-SP のみ)。

3.5 GUI

- 遅い回線、例えば TDM 回線 (128kbps) 経由で、本製品の Web 設定画面にアクセスすると、設定画面が正常に表示されません。この現象は、本製品が設置されている側のネットワークに、HTTP プロキシサーバーを設置することで回避できます。
- 「IP 電話設定」→「IP 電話基本設定」の「SIP サーバアドレス」「SIP ドメイン名」「IP 電話番号」「ユーザ ID」「パスワード」にスペースのみが入力可能ですが、入力しないでください。
- 「詳細設定」→「LAN 側設定」の「リースタイム (時間)」に 2～72 以外の値が入力可能ですが、入力しないでください。
- 「メンテナンス」→「管理者パスワードの設定」の「変更前に戻す」ボタンをクリックしても、変更前のパスワードに戻すことができません。
- 管理者 (manager) のパスワードを忘れないでください。忘れてしまった場合、復旧することができません (工場出荷時に初期化することができません)。
- 「VoIP の高度な設定」→「高度な設定 2」の「Min-SE」に 3600 (秒) まで設定可能ですが、100～1800 以内の値を設定してください。

3.6 その他

- 「接続モード」は、「Mode 1」のすべて、「Mode 2」の一部 (PPPoE (シングルセッション)、DHCP サーバー) をサポートしています。
「Mode 3」は、未サポート機能です。
「詳細設定」の「ファイアウォール設定」「DoS Setting」「DMZ Setting」「QoS 設定」は、未サポート機能です。
「詳細設定」の「LAN 側設定」の「ネームサーバ設定」(プライマリ DNS、セカンダリ DNS) の「Proxy DNS」(DNS リレー) は、未サポート機能です。
「詳細設定」の「告知放送設定」(Skywave Setting) は、RG601TX-SP のみがサポート

